平成21年５月８日

各　位

会　社　名　　株式会社シイエム・シイ
代 表 者 名　　代表取締役社長　龍山　真澄
（ＪＡＳＤＡＱ・コード２１８５）
問 合 せ 先
役職・氏名　　常務執行役員
経営企画室担当　田島　龍司
TEL（052）322－3386

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年12月４日に公表いたしました平成21年９月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

１．連結業績予想との差異

平成21年９月期通期連結業績予想数値の修正（平成20年10月１日～平成21年９月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	14,214	1,317	1,341	812
今回予想（B）	13,148	1,505	1,517	925
増減額（B－A）	△1,065	187	176	112
増減率（%）	△7.5	14.2	13.2	13.9

２．個別業績予想との差異

平成21年９月期通期個別業績予想数値の修正（平成20年10月１日～平成21年９月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	12,180	1,203	1,241	752
今回予想（B）	11,449	1,481	1,506	918
増減額（B－A）	△730	277	265	165
増減率（%）	△6.0	23.1	21.4	22.0

３．修正の理由

平成21年９月期第２四半期累計期間の業績は、売上高が計画比減少したものの、営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも計画を大幅に上回りました。主力のマーケティング事業においては、取扱説明書や修理書の企画・編集・制作業務を行うカスタマーサポート・マーケティングの売上高が、業績予想時に不確定であった計画外物件の受注や既受注物件での追加受注等の増加により、計画比増加しました。しかしながら、業務標準化支援や教育研修の企画・運営を行うインターナル・マーケティングや消費者に対する販売促進支援等を行うエクスターナル・マーケティングの売上高が計画比減少し、システム開発事業におきましても、主要顧客向けの受注が減少し、売上高が計画比減少したことから、全体では売上高は計画比減少しました。一方、利益面につきましては、従来から得意分野で利益率の高いカスタマーサポート・マーケティングの売上高が計画比増加したことに加え、原価低減努力が功を奏したこと等により大幅な増加となりました。

第３四半期以降のマーケティング事業については、インターナル・マーケティング及びエクスターナル・マーケティングが第２四半期累計期間に引き続き、取引先企業の予算縮小等の影響により先行き厳しい見込みであり、売上高及び利益ともに計画比減少を見込んでおります。また、システム開発事業においても、主要顧客の業績悪化による影響が続き売上高及び利益ともに計画比減少を見込んでおります。

平成21年9月期通期予想は、第3四半期以降の業績が計画比厳しい予想をしているものの、第2四半期累計期間で計画を大きく上回ったため、平成20年12月4日に公表いたしました通期業績予想に対し、売上高は減少するものの、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては計画を上回る見込みとなっております。

※上記の修正予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以　上